

令和7年度事業計画書(令和7年5月1日～令和8年4月30日)

(敬称略)

《事業の概要》

写真を通じて、日本文化の進展に寄与することを目的に、令和7年度は下記の事業を実施する

《中長期戦略企画室》

1. 日本写真会館・建替え実現に向けて
 - ① 解体工事開始(令和7年8月以降)迄に、事務局の一時移転を完了
 - ② スターツ・グループとは建築工事着工に向けて建替えの基本計画を確定し、信託契約書を締結
 - ③ 解体・建築工期中(令和7年8月～同9年10月)、竣工後(同9年11月～)における想定収支ベースに沿った事業計画の検討と設定
2. 日本写真会館・竣工後に向けた、「当協会の方向性(未来像)」構築の協議を継続推進

《総務部》

1. 任期満了に伴う役員改選を始めとする、第79回定時会員総会のスムーズな運営推進
2. 全国ブロック、都道府県との情報共有化等連携強化のため、オンライン合同会議開催
(これまで1回/年、12月に相対での会議開催であったが、同会議を含め、2回/年以上の開催)
3. 令和7年度功労者(写真を通じて社会に貢献、もしくは写真芸術の発展に功績のあった個人及び団体)の選考と表彰
4. 日本写真館協会との事業連携(アライアンス)の検討とその具体化
5. 日本写真著作権協会(JPCA)との連携強化による、会員への写真著作権思想の更なる浸透と附番される著作権者IDの有効活用促進
6. 国際交流活動の推進
 - ① PPJの、円滑な活動に向けた体制の見直し
 - ② WPC2025入賞作品展の開催
 - ③ WPC2026応募促進及び入賞に向けた活動強化：入賞作品展開催による認知度向上と応募促進
7. 日本写真会館建替え・解体工事開始に向けて中長期戦略企画室と連携し、期限通りのテナント退去実現と、事務局の一時転居の完了及び転居先職場の業務効率化推進
8. 中長期戦略企画室、財務部と連携して、経費削減のための協議を推進

《財務部》

1. 令和7年度予算の遂行管理の徹底
 - ・ 事業実施状況を確認し、各部予算の的確な使用を促進
2. 日本写真会館・建替え工期中及び竣工後に向けた、中期的な予算設定の考え方を策定
3. 上記2の中期的な予算設定の考え方にもとづき、令和8年度収支予算を策定

《文化部》

1. 全国展フォトコンテストの実施
 - ① 第71回全国展フォトコンテスト表彰式・入賞入選写真展実施
 - ・ 表彰式：令和7年5月28日(水)、東京都美術館(東京・上野)予定
 - ・ 写真展：東京都美術館(上野) 令和7年5月28日(水)～6月4日(水)
 - 富士フィルムフォトサロン大阪 令和7年9月頃予定
 - 東京都美術館、富士フィルムフォトサロン大阪は文協コーナーにて「2025選抜展」併催
 - ・ 「第71回全国展フォトコンテスト入賞入選作品集」の発行
 - 発行：令和7年5月予定 ・ 販売価格：2,000円/冊(税込)
 - ② 第72回全国展フォトコンテストの企画立案
 - ・ 会員、一般、学生の応募状況を検証し、応募増に向けた働きかけ・仕組みづくり
 - ・ 経費見直しを図りつつ、コンテスト企画の魅力アップを推進
2. 第74回「写真の日」記念講演の開催
 - ・ 日時：令和7年5月28日(水)(第71回全国展フォトコンテスト表彰式と同日開催)
 - ・ 会場：東京都美術館(東京・上野)
 - ・ 講師：辰野清氏
3. ポートレートギャラリーの運営
 - ① 建替え前の最終期となる令和7年上期展示の円滑な運営
 - ② 新ギャラリーのレイアウト・設備等の調整及び竣工後に向けたプロモーションの企画等の推進
4. スクールフォトビジネス対策の推進
 - ① 卒業アルバムの文化を継承していくための「学校写真フォーラム委員会」活動を写館協・全日本学校アルバム印刷組合とともに継続的に推進
 - ② NPO法人「よみがえれ卒業アルバム」事業に対する協力

5. 写真普及、及び写真文化・芸術に関する調査・研究・表彰(継続実施)
 - ① 七五三・成人式等、日本の慣習・文化を紹介し、写真館で残す写真の意義・素晴らしさをさらに普及浸透
 - ② 写真に携わる一般人や高校生への写真普及事業の展開
 - ・ 写真普及を目的として写真愛好家や都道府県高等学校写真連盟等の写真活動を支援し、当協会賞を設定、優秀な作品の顕彰に寄与する
 - ③ 最新写真情報及び、歴史の調査・研究とその活用
 - ④ 写真作品・写真に関する書籍・情報の収集・保存
 - ⑤ 写真愛好家の育成拡大
 - ・ 地域社会における、写真愛好家の育成拡大のための写真教室開催の企画検討
6. 全国 10 ブロックへの講師派遣の推進
 - ・ 各ブロック主催の講習会や研修会等に講師を派遣又は派遣に関わる経費の援助
7. 下岡蓮杖翁の顕彰
 - ・ 令和 8 年 3 月 3 日(火) 染井霊園(東京・巣鴨)墓参

《広報部》

1. 文協の知名度・ステイタス向上のための活動推進(情報発信と受信窓口としての活動展開)
 - ・ 情報収集力、情報発信力の強化
 - ・ 会員相互の情報共有・交流の活性化
2. 出版関係
 - ① 機関誌「写真文化」の内容の充実
 - ・ 印刷特性を生かす良質な写真の掲載、インターネット題材への積極的なリンクによる相乗効果、新連載企画「新しい写真文化」による、新規トレンドの紹介
 - ② 「写真文化」年間発行数減(6 回/年→4 回/年)に対する補完及び、新たな情報提供策として、メールマガジン「写真文化+(プラス)」のタイムリーな発信
 - ③ 「写真文化」での文協活動の報告 … 定時会員総会、理事会、各部報告等
 - ④ 全国会員からの情報収集体制の整備(ブロック・都道府県広報担当者との情報連携体制の構築)
3. IT 広報関係
 - ① ホームページの内容充実に向けた継続的な更新
 - ・ 「くらしと写真」をはじめ、主に一般顧客層にスタジオ撮影の魅力を訴求する内容の充実化を図る
 - ② メールマガジン「写真文化+(プラス)」企画推進他、会員名簿電子化の有効活用推進(付加価値追加)
 - ・ 会員電子メールによるネットワーク作りの推進 / 未収集都道府県からのメールアドレス収集促進
 - ③ ニュースリリースの発行・配布 (全国展フォトコンテスト、会長年頭所感等)

《教育訓練部》

1. 令和 7 年度第 62 回夏期写真大学講座は中止。休講中に夏期大をリニューアル
 - ① 日本写真会館建替え・解体工事が令和 7 年 8 月以降開始の予定で、時期が重なるため、中止する
 - ② 休講中に新しい時代のニーズに対応した姿(夏期大のあるべき姿)にリニューアルする
 - ③ 夏期大サロン(フォローアップ・オンライン・ミーティング)は継続的に実施する
2. 技能検定対策
 - ① 技能検定をテーマとするオンラインセミナーを開催(8 月頃)
 - ・ 技能検定に広く興味を持ってもらうために、スタジオでの撮影実技と技能検定資格の活用事例紹介を行なう
 - ② 検定試験実施に向けた都道府県へのサポート
 - ・ 今後の受検者増対策として、検定試験実施を希望する都道府県に、それぞれの能力開発協会へのアプローチ方法等ノウハウを提供する
 - ③ 「写真職種・学校写真作業」の新設検討及び、働きかけ